

令和6年3月15日
国際観光課
外線：076-225-1128
内線：3967
担当：今村、鈴木嶺

台湾小学生から能登半島地震の被災者に向けた手紙の掲出について

1 概要

令和6年能登半島地震の発生を受け、台湾新竹縣竹北市にある實人實驗教育（じつじんじっけんきょういく）小学校の4～6年生から、「八田技師夫妻を慕い台湾と友好の会」（金沢市）を通じ、被災者に向けた手紙が届きました。

県教育委員会を通して、能登の小学校へ手紙が届けたところ、珠洲市立上戸小学校の児童から台湾の小学校にお礼の手紙が届いたとの報告がありました。

台湾から届いた手紙と、珠洲市の児童たちが送った手紙の内容を、春休みに合わせて展示することになりましたので、お知らせします。

2 展示概要

時期：令和6年3月19日(火)～4月1日(月)

場所：石川県庁19階展望ロビー

展示物：台湾小学生からの手紙（翻訳付）20通など

3 参考

【学校概要】

實人實驗教育（じつじんじっけんきょういく）小学校は、2023年に彭瑜亮氏・陳品誼氏が新設した実験小学校。子供たちが本当に学びを楽しむことを目指す学校です。創設者の言葉や豊かな共有、実践的な教育方法、革新的なカリキュラムなどを通じて、子供たちが学び、成長し、自己を表現する場を提供しています。生存力、生活力、命の力を育むことを教育理念とし、問題解決型学習やプロジェクトベースの学習を取り入れています。混合年齢のクラスや異業種との連携を通じて、個々の能力に合わせた教育を実現しています。